

金子道雄（かねこみちお）（1/2）

～強い意志を持った人～

唐津地区では幕末までは松浦川の豊かな水を利用して、人々は船で物を運んだり、移動するにも船を使っていました。遠くの地域とは、海上輸送に頼っていました。

明治時代に入ると、石炭を運ぶために、国の方針として道路が改修されたり新しく造られたりして、明治33年には馬車鉄道が開通しました。昭和3年に馬車が姿を消すまで人々は馬車や、人力車を利用していましたが、大正10年ごろには大型のバスが運行されはじめ、昭和6年には、前身の昭和自動車が唐津でのバス事業に進出しました。

道雄は、明治38年（1905年）、佐世保市に10人兄弟の長男として生まれました。佐世保の高等小学校を卒業後、青木洋鉄商店に奉公し店主の青木栄蔵のもとで厳しい指導を受けたといいます。仕事はもちろんのこと、人間としてこういう生き方をしなければならないといったことまで、店主は教えました。よほどみこまれていたにちがいありません。道雄の強い生き方は、ここでしっかりと身についたといえます。昭和10年には青木商店の支配人となり、店をまかされるようになりました。店主が亡くなり、31才の若さで事業を引きつぐことになりました。

昭和12年、これまで運営されていた昭和自動車株式会社を引きついでバス会社をスタートさせました。軍需産業が最もにぎわっていたこの時代でしたが、「戦争はいつかは終わり、平和産業の時代がやって来る。人々は旅行や買い物を楽しみ、バスは暮らしの足となるに違いない」と考えた上で、周囲の猛反対を受けながら、バス事業に力を注ぎました。

昭和16年（1941年）、日本は太平洋戦争に突入しました。戦争は激しくなり、乗用車のガソリンが全面的に使用禁止となり、人々は大変困ってしまいましたが、時代を読む力にすぐれていた道雄は「ガソリンが使えなくなる日が来るにちがいない、今のうちに燃料を木炭に切りかえておこう」と他のバスが困っているなか、モクモクと煙をはきながら、バスを安全に運行させ続けました。また、戦争中で、多くの人々が戦争に招集されました。それによって、運転手がいなくなってしまったのです。そこで女子社員に運転を教え、10代の女性たちが人々を何とか運びました。

～2/2へつづく～

分野 人物

地域 唐津

◎地図・写真・統計資料など



金子 道雄
(1905～1979)



戦中戦後の六輪車

(『郷土につくした人々』より)

◎引用・参考文献（出典）

◆『郷土につくした人々』
～ふるさと唐津の偉人たち～

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsucity.jp/hp/cnts_lib/index.html

金子道雄（かねこみちお）（2/2）

～強い意志を持った人～

～1/2からつづく～

そんなころ、アメリカ軍が唐津にも上陸するといううわさが流れ、市民は驚き、あわてて知人や親せきを頼って田舎の方へ疎開しはじめました。そんな人たちがたくさんバスを利用しました。押しよせてくる市民を、三日三晩、休まず無料で目的地まで避難させ、大変感謝されました。

戦争が終わってまもなく道雄は、昭和22年から県議会議員となり、昭和30年、財政でき大変困難な時であった唐津市を立て直したいとの思いから唐津市長に当選、12年間そのつとめを果たしました。道雄は、これまでこれまでつちかっていた能力を十分に発揮して、また、努力を重ねて、数年後には健全な財政に復活させ、今日の基礎を築きました。

昭和36年4月、天皇、皇后両陛下が唐津に来られることになりました。当時、両陛下に宿泊される適なお宿がなく、当時の佐賀県知事からの願いで、道雄は自宅にお迎えしました。

その時天皇陛下が詠まれたお歌の歌碑が、鏡山の頂上に建立されています。

はるかなる 吉岐はかすみて 見えねども
渚美し この松浦湯

昭和54年（1979年）、道雄は74歳で亡くなりました。多くの人々が、その死を悲しみました。衆議院議長をつとめた保利茂さんは生前、「己の言動に対してはあらゆる障害を乗り越えて全責任を果たすという、一枚岩のような、強い意志を持った人である。」と道雄のことを称えています。

分野 人物

地域 唐津

◎地図・写真・統計資料など



昭和30年頃の昭和バス



虹の松原の中を走る昭和バス

（『郷土につくした人々』より）

◎引用・参考文献（出典）

◆『郷土につくした人々』
～ふるさと唐津の偉人たち～

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html